

2023年9月5日
三愛オブリ株式会社

東京都バイオ燃料活用における事業化促進支援事業 採択について ～リニューアブルディーゼルを用いた脱炭素化推進事業～

三愛オブリ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:隼田 洋、以下「三愛オブリ」)は、伊藤忠エネクス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 CEO:吉田 朋史、以下「伊藤忠エネクス」)、オーシャンネットワークエクスプレスジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 中井 拓志)、サントリーホールディングス株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:新浪 剛史)、全日本空輸株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:井上 慎一)、トナミホールディングス株式会社の中核会社であるトナミ運輸株式会社(本社:富山県高岡市、代表取締役社長:高田 和夫)、および日本コンテナ輸送株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:宮治 豊)と、東京都が公募した「バイオ燃料活用における事業化促進支援事業」に共同で応募し採択されました。バイオ燃料であるリニューアブルディーゼル(以下「RD」)を活用し、東京都の脱炭素化推進に取り組めます。

本事業は、環境負荷のより少ないバイオ燃料を活用した車両等での商用化・実装化に向けた事業を公募し、バイオ燃料開発事業者等の取り組みに係る経費の一部を助成することにより、東京の脱炭素化を推進するとともに、バイオ燃料関連産業の活性化への寄与を目的として、東京都が実施しております。

三愛オブリは世界最大のリニューアブル燃料メーカーである Neste OYJ(本社:フィンランド、CEO: Matti Lehmus)の RD※を伊藤忠エネクスより調達し、東京国際空港(羽田空港)での当社作業車両に RD を活用することで、バイオ燃料の利用拡大を促進し、東京都の脱炭素化を推進します。

※ Neste MY Renewable Diesel は、食料と競合しない廃食油や廃動植物油等を原料として製造され、ライフサイクルアセスメントベースでの GHG 排出量で石油由来の軽油と比べて約 90%の削減を実現します。RD は「ドロップイン」燃料として、既存の車両や機械及び給油関連施設を活用することが可能であり、既に欧米を中心に広く流通実績があります。脱炭素施策に係る導入コストを最小限に抑え、GHG 排出量削減にも大きく貢献できる次世代リニューアブル燃料として、今後の建設・輸送分野での更なる利用拡大が期待されます。

<本件に関するお問い合わせ先>

三愛オブリ株式会社

航空事業部 業務部 TEL:03-5757-0321